

会議録

進 行 堀
記 録 浅 田

- 議 題 平成21年度 第1回 学校協議会
- 開催日時 平成21年7月18日
- 開催場所 本校 応接室
- 出席者 [委員] 入江委員 加治佐委員 北浦委員 芝井委員 立石委員 宮坂委員
[学校] 松本(校長) 秋元(教頭) 小野(事務長)
山本(首席・学習指導室長) 堀(指導教諭・学校運営室長)
浅田(学年室長)
- 資料 1. 新型インフルエンザに対する対応・・・資料1～6
2. 志望校検討会議・・・資料7・8

■学校長挨拶

①「今回の新型インフルエンザに対する槻の木高校の対応について」を資料として、学校の危機管理の在り方について協議をお願いしたい。

②本年度より本校の進路指導の試みとして位置づけた第3学年の全生徒を対象とした「志望校検討会議」の取組について、助言と指導をお願いしたい。

■議事内容

1. 委員及び事務局の紹介

2. 座長の選出

本年度の本校PTA会長 北浦委員 を座長に選出する。

3. 学校からの報告

報告1：「今般の新型インフルエンザへの対応～学校の危機管理～」

資料1～6

(1)経過説明 [秋元教頭]

(2)意見交換

[宮坂委員] 学校独自の対応は難しかったと思うが、自治体・行政との連絡体制はどうであったのか。

〔松本校長〕 感染拡大が急なこともあり、府教委においてもまとまった対応策は準備できていなかったという印象を持った。

〔秋元教頭〕 本校は、6月末にオーストラリア方面への修学旅行を予定していたが、その扱いについても、府教委からは「患者発生国及び周辺地域への修学旅行の実施については、自粛を含めて検討すること」の指示があるのみであった。

〔宮坂委員〕 「自粛」とは、当該の学校で判断せよということか。

〔芝井委員〕 大学でも休校措置をとったが、私は反対の立場であった。今回の対応の指針は鳥インフルエンザの場合のものである。拙速過ぎる感じがする。休校にするならば、解除の条件や状況を明確にすべきである。事実を見極めて対応できる社会であってほしいと思った。

〔秋元教頭〕 本校が今回の件で機能的な意思決定・対応ができたのは、学校全体にかかわる、また、多分掌にまたがる案件について審議し方向付けを行う組織としての「企画委員会」の存在が大きいと考える。ただし、マスコミ対応のノウハウについては、学校現場では十分に蓄積されていない。難しいと感じる点である。

さらに、緊急時の連絡体制の確立が急務であることも痛感したが、個人情報保護条例との関連をどう整理したらよいかが課題である。

また、今回、国や府から出された指針には、学校現場の実情を踏まえたものとして不十分な部分もあった。現実から離れた指針に従えば、学校の機能が停滞する場合もあるのではないかと危惧される。

〔堀学校運営室長〕 校内外の状況把握と上位判断による方針の確立、学校としての意思決定、校内外への具体の対応という流れの中で速やかに実施されなければならない。

〔宮坂委員〕 マスコミ対応ということでは、学校が危機対応が迫られるような場合は、日頃教育を扱う部署ではない社会部が動くことになる。従って、学校としては対応を変えなるといけないだろう。何よりもマスコミには初期対応が大切となる。取材要求に対して「わかりました」と受けつつ、取材内容や方法について条件を提示するなどが必要である。

〔芝井委員〕 社会部は教育現場の詳細については十分に理解していないので、マスコミへの広報の一元化を図らねばならない。

〔北浦委員〕 学校から情報を発信する場合は、保護者の視点に立って、親の気持ちを考慮して行ってほしい。

広報の一元化には、情報の正確性を保てるのかという不安があるがどうか。

〔芝井委員〕 確かに、発信される情報がコントロールされることはある。しかし、混乱をきたさないためにも緊急時の広報一元化は必要であると考えます。

〔松本校長〕 情報の受け手や関係者に不安を与えないよう、「ダイレクト」と「段階を踏む」との手法の選択が大切だろう。

〔加治佐委員〕 マニュアルは必要だが、そのマニュアルが実効あるものとなっているかが重要である。広報の一元化は当然のことと考える。本校の場合は、トップダウンの組織構造と文化があったことが助けとなったと言えるだろう。

〔宮坂委員〕 初期対応をスムーズにするために、今回のような場合に即応するマニュアルが必要で、現場でも常に心掛けることが大切だ。他県にしっかりしたものが作成されているので参考にしてほしい。

〔加治佐委員〕 国・公立は、上部の言いなりの感じがする。各学校が独自のマニュアルを作ればよいのではないかと。

〔北浦委員〕 今回の件を叩き台としてプラスαのマニュアルを作るべきだ。緊急時の連絡網などはPTAが作成して学校に提供するという方法も考えられる。

〔宮坂委員〕 他校の緊急連絡の在り方、また、休校中の子どもたちの動向などを調査することも必要だ。

〔入江委員〕 私が勤務する中学校では、今回、通常の電話連絡、携帯電話を通じてのメール通信、ホームページ、家庭訪問やポスティング等によって情報を発信した。

情報の交錯を避け、正しい情報を伝えるという意味で広報の一元化は大事である。確実に伝えることを目的とした情報伝達のシステムづくりが急務である。

〔立石委員〕 マスコミ発表において、一度校長が発言した内容は訂正できないものである。マスコミ対応には、教頭や主任レベルがあたることも考えてもいいのではないかと。

〔加治佐委員〕 数人がインフルエンザに罹患して休校となり、元気な子どもたちが家にいる状況は、塾や予備校のビジネスチャンスである。家庭でどう過ごさせるかも家庭連絡体制を確立するあたりの一つの課題と言えるだろう。

報告 2 : 「志望校検討会議について」

資料 7・8

(1) 報告〔山本学習指導室長〕

(2) 意見交換

〔北浦委員〕 志望校に不合格になったとしても学校に責任を問わない。だから、合否にかかわらず本人の責任だという姿勢が大事ではないか。もっと積極的に学校が生徒の進路決定に踏み込んでもいいのではないか。昨今の状況を見ていると、少なからず逃げの姿勢があるようだが。

〔山本学習指導室長〕 この会議を成立させるギリギリの線だと考えている。合否の確率、すなわち数字の部分については予備校や塾に任せ、生徒の意欲を落とさせない、言い換えると志望校のレベルを下げさせないためのメッセージを榎の木が送り続けることが現在の目的である。

〔宮坂委員〕 ある私学では、正確な数字は外部から、やる気と励ましを内部で、という姿勢でやっている。

〔加治佐委員〕 この会議には学校の誰が参加しているのか。多くの先生が共通認識を持つことがそのまま励ましになるということをおねらっているのか。大阪は、塾や予備校を打ち破ろうとしているのではないのか。榎の木もそういうスタンスではなかったのか。

〔松本校長〕 創立 7 年目、卒業生を出して 5 年目ということで、本校には学校独自のデータの蓄積がまだ充分ではない。

〔加治佐委員〕 外部のデータに依存しないで指導していくのが本来の目的ではないか。今はそこまでに至っていないからということなら理解はできるのだが。

〔堀学校運営室長〕 今後への第一歩だと考え、受け止めている。

〔山本学習指導室長〕 夏休み前には志望校を決定することはできない。生徒の伸びしろをより伸ばしてやるぞというメッセージを送ることが教育だと考える。夏休み後の秋に強烈なメッセージを出すには、榎の木 7 年の実績ではまだその材料としては不十分である。

〔北浦委員〕 なぜすべての教員で志望校検討会議を構成できないのか。プロ意識の欠如ととらえられるのではないか。親としての気持ちではあるが。

〔宮坂委員〕 今春の入試合格者の学力実態の評定別得点率において、榎の木高校と他のトップ校との違いは、榎の木が数学・社会・理科で 20～30 ポイント下回っているということだ。それを 4 月入学当初からいかに埋めていくかが肝要だ。そのための分析が必要だろう。

資料

資料1

平成21年4月30日

第6期生 保護者 様

大阪府立槻の木高等学校
校長 松本 秀 範

新型インフルエンザの拡大に伴う オーストラリア修学旅行への影響について

新緑の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、先般より新聞紙上等で報道されております「新型インフルエンザ」の世界的な感染の拡大に伴いまして、本年6月28日より予定しております第6期生のオーストラリア修学旅行について、その実施への影響が否めない状況となってまいりました。

つきましては、大阪府教育委員会よりの4月28日付通知において、海外修学旅行については、「外務省渡航情報等最新の情報収集に努め、特に、患者発生国及び周辺地域への修学旅行の実施については、自粛を含め再検討すること」との指示があり、本校においても、新型インフルエンザ拡大の推移を見守るとともに、正確な情報の収集に努め、生徒の身体の安全を第一義として、近々のしかるべき時期にオーストラリア修学旅行の実施の可否を含めた総合的な判断を行い、改めてご連絡させていただきたいと考えております。

ご家庭には、ご心配をおかけいたしますが、状況の推移をご注視していただき、今後の対応についてもご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、任意保険の振込み等の修学旅行に関する諸手続きについては、現在の時点ではこれまで通りの予定で進めてまいりますので、ご承知くださいますようお願いいたします。

資料2

平成21年5月8日

第6期生 保護者 様

大阪府立槻の木高等学校
校 長 松 本 秀 範

新型インフルエンザの拡大に伴う
オーストラリア修学旅行の中止について（お知らせ）

新緑の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、世界的な感染が危惧されております「新型インフルエンザ」の拡大に伴いまして、本年6月28日より実施予定の第6期生オーストラリア修学旅行については、中止することといたしました。

今日まで、大阪府教育委員会よりの海外修学旅行についての指示事項、「外務省渡航情報等最新の情報収集に努め、特に、患者発生国及び周辺地域への修学旅行の実施については、自粛を含め再検討すること」に基づき、新型インフルエンザ拡大の推移を見守り、正確な情報の収集に努めつつ、海外修学旅行に向けての準備及び事前指導を進めてまいりました。しかしながら、今般の国内外の状況を総合的に判断した結果、生徒の身体の安全を第一に考え、海外修学旅行については断念せざるを得ないと思量いたします。

ご家庭にはご心配をおかけし、また、残念の極みではありますが、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今回のオーストラリア修学旅行の中止に伴い、現在、連泊を伴う修学旅行の教育的意義の大きさを深慮し、代替修学旅行の実施を検討しております。今後の新型インフルエンザ感染の動向を注視しつつ、実施の時期や目的地、活動内容、また、旅行費用の扱い等について検討を進め、でき得る限り早い時期に、生徒・保護者様にご案内させていただきたいと考えます。

つきましては、下記により今回の決定及び今後の対応についての説明会を実施いたしますので、第6期生保護者様には、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

- 〔日 時〕 平成21年5月16日(土) 15:00より(予定)
※ P T A総会終了後
- 〔会 場〕 本校体育館トレーニングルーム(体育館1階)
- 〔内 容〕 オーストラリア修学旅行の中止に伴う今後の対応について
- 〔対 象〕 第6期生保護者

新型インフルエンザの感染拡大に伴う生徒の健康調査について
(電話対応マニュアル)

◆家庭への連絡手順と内容

1. 全校生徒の家庭を対象に電話によって健康調査、及び、連絡を行う。
2. 各クラスに連絡要員として、担任1名、連絡補助員1名を充てる。
3. 以下の手順で行う。

① 昨日の深夜に、大阪府教育委員会より、高槻市内の府立学校についても、5/18(月)～24(日)を臨時休業にする旨の指示が出されたので、本校においてはその期間を休業とすること。

② 休業期間中は、登校禁止となるので、教具・教材を取るために登校することなども認められないこと。

③ なお、休業期間中に、定期考査の扱いを含めた今後の対応について、電話、ホームページ、槻の木メールマガジン等を通じて家庭に連絡するので留意すること。

また、休業期間中は、定期考査に備えてテスト勉強に努めること。

④ 家庭から本校のホームページが閲覧できるか否かを確認し、「健康チェックシート」に記入する。

⑤ 「健康チェックシート」をもとに、生徒の健康を把握する。

⑥ 現在、または、今後、発熱・咽頭痛等の急性呼吸器症状がみられる場合は、居住地の保健所に相談するとともに、学校にも連絡すること。

※保健所等の問い合わせには、右ページを参考にお答えください。

⑦ 心配のことと思うが、大阪府及び居住市町の広報などにより正確な情報の収集に努め、不要な外出を自粛するなど、健康に細心をはらうこと。

【発熱相談センター】

地域保健感染症課 (専用電話回線) 06-6944-6791
(FAX相談窓口) 06-6944-6602

健康チェックカード

5月18日

| | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 年 組 () 氏名 | |
| 1. 咳や鼻水がありますか | はい ・ いいえ |
| 2. 全身のだるさや節々の痛みはありますか | はい ・ いいえ |
| 3. のどの痛みはありますか | はい ・ いいえ |
| 4. 発熱はありますか | はい ・ いいえ |
| ははい と答えた人について は体温は何℃ですか | 平熱 (°C) 現在 (°C) |
| 5. 家族に1～4の症状がでている人はいますか | いる , いない |
| 6. 何か気になることがあれば記入してください | |

必要のない外出は控えましょう。

外出時にはマスクをし、帰ったら手洗いやうがいを行うな予防に努めましょう。

新型インフルエンザは誰でもかかる可能性がある病気です。

新型インフルエンザの感染拡大に伴う
生徒の健康調査、及び、臨時休業解除の連絡について

◆家庭への連絡手順と内容

1. 全校生徒の家庭を対象に電話による健康調査、及び、連絡を行う。
2. 各クラスに連絡要員として、担任1名、連絡補助員1名を充てる。
3. 連絡は、固定電話3回線を基本に、19台のレンタル携帯電話によって行う。
4. 固定電話3回線を各学年に割り振る。

1番：1年 2番：2年 3番：3年

5. 以下の手順で行う。

① 大阪府教育委員会の指示により5/18(月)～24(日)を臨時休業とし、全校生徒の健康調査を行うとともに状況の推移を見守ってきたが、現在のところ、本校生徒・教職員に感染者は確認されていないこともあり、予定通り5/24(日)を最後に登校禁止を解除し、5/25(月)～29(金)の期間で前期第一中間考査を実施する。

- ② 5/25(月)、全校生徒は、8：10にHR教室に集合すること。
ただし、7：40以降に登校すること。

その後、考査初日の試験科目を、2限→3限→《1限》の順で実施する。

※《1限》の科目とは、3年生：化学Ⅱ、センター生物演習

なお、登校に際しては、マスクの用意のある者は着用すること。

- ③ 考査当日に、発熱・咽頭痛・咳などの体調不良のある場合は無理に登校せず、自宅療養するとともに居住地の保健所(発熱相談センター)等に相談すること。

考査を欠席する場合は、学校に電話連絡するとともに、事後に欠試届(通院等を証明できるものがあれば添えて)を提出すること。その際の成績については、見込み点等によって配慮する。

- ④ 今後の状況の変化によっては、新たな対応が必要となるので、槻の木高校ホームページ「ニュース」欄を注視すること。学校のホームページが閲覧できない家庭には、学校から電話等により連絡する。

■「健康チェックシート」をもとに、生徒の健康を把握する。

資料6

平成21年 5月25日

保護者 様

大阪府立槻の木高等学校
校 長 松 本 秀 範

新型インフルエンザの感染拡大に伴う
臨時休業の解除と授業(考査)再開について

新緑の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、今般の新型インフルエンザの感染拡大に因る府立高校の一斉臨時休業の措置に基づき、本校においては、5/18(月)～24(日)を臨時休業とし、全校生徒に対する健康調査を行うとともに状況の推移を見守ってまいりました。現在のところ、本校の生徒・教職員に罹患者は確認されていないこともあり、当初の予定通り5/24(日)を最後に登校禁止を解除し、5/25(月)～29(金)の期間で前期第一中間考査を実施することといたします。

当面の間、お子様に発熱・咽頭痛・咳などの急性呼吸器症状が認められた場合は、無理に登校させず、自宅療養するとともに居住地の保健所(発熱相談センター)等に相談し、学校にもご一報ください。

また、体調不良によって考査を欠席する場合は、学校に電話連絡するとともに、事後に欠試届(通院等を証明できるものがあれば添えて)を提出してください。その際の成績については、他の考査結果から見込み点を査定するなどによって配慮いたします。

この考査期間中は、考査が終了次第、速やかに下校するよう指示いたしますので、ご家庭におかれては、家庭学習に励むようご指導ください。

なお、今後の状況の変化によっては、新たな対応が必要となることも考えられますので、槻の木高校ホームページ「ニュース」欄の閲覧に努めてください。学校のホームページが閲覧できないご家庭には、学校より電話等により連絡させていただきます。また、休業措置により欠けた授業の補充日を含む当面の行事予定の変更については、改めて文書等でお知らせいたします。

今般の不測の事態により、ご家庭にはいろいろとご心配をおかけしておりますが、今後も引き続き、健康調査等によって生徒の健康面の安全に留意しつつ教育活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

資料7

志望校検討会議の経緯

平成19年度

- ・J高校「学校説明会」参加見学
 - 徹底した岡山朝日高校との比較(進学実績の比較)
 - 地域での学校説明会
 - 雰囲気づくり
- ・H高校「探究科」見学報告
 - 予算・設備と人材の豊富さ
 - 生徒の意識・認識(コレをするためにH高校を選んだ)
- ・「全国公立高校進学指導研究会」参加報告
 - 進路指導部長のリーダーシップ
 - 進路部長が全生徒を把握 → 「志望校会議」の存在
 - 伝統という厳しさが地方の進学校にはある
 - とにかく励ます
- ・S高校「学校説明会」参加見学
 - 徹底したT高校との比較(しつけ面の比較)
 - 研究指定校 → 予算設備
 - 受験は団体戦 → クラブとの両立の方策
 - とにかくほめる → GOOD JOB カード

漠然とした仮説 「志望校会議」が有効ではないか？

平成20年度

- ・O高校学校視察
 - 徹底した個人面談と志望校会議
 - 6クラス7展開のクラス編成
 - 宿題と点検
 - 3年学年末の手厚い指導

「志望校会議」実施決定へ、その実現に向けて・・・

- ・大阪府立高校の進学指導の実態
 - 関わりは担任のみ

担任の差が歴然

保護者・本人の信頼度は予備校が圧倒的

・大阪府立高校生の意識実態

以前は、現役で結果を求めない(3年間の高校生活は大いに楽しむ)

現在は、高校生活の楽しさは変わらず、浪人回避の流れ

簡単に志望校を落とす(受験科目を減らす)

志望校を落とす時期が早すぎる

平成21年度

・S予備校「進路指導研究会」参加報告

現役受験生が伸びるのは受験直前の1月～2月

国公立後期の重要性

とにかく志望は落とさせない

梶の木にあった志望校会議の有り様の検討

① (会議の主旨および目的)

・本会議は生徒一人一人の第1志望校の検討を行うことにある。

・本会議の決定は、第1志望に対する検討の結果だけである。従って、その後の志望 変更
に対しては、何ら妨げにはならないものとする。

・本会議の目的は、

1)生徒一人一人の志望を生徒に関わる相当数の先生が認識し、学校として進路指導をするという実態を創造し、またそのメッセージを発信すること。

2)生徒に対し、適切な第1志望を適切な時期まで頑張らせること、受験に対するモチベーションを維持・向上させること。

② 会議内容については生徒・保護者に報告用紙で担任より報告する。(志望別に用紙は 変わります、下表参照)

③ 本会議は、3～4回に分けて行い、志望別に行う。

それに伴い、会議の構成メンバーは、校長、教頭+3年担任団+学習室課長 をベースに、回毎に関係の先生に参加協力を願うものとする。

今年の例

第1回 7/8(水)・・・就職、専門、短大、公務員、看護 + 各クラスピックアップ生徒対象

第2回 7/10(金)・・・国公立、関関同立志望生徒対象

予備 7/17(金)

第3回 7/23(水)・・・成績会議後、4年私大志望生徒対象

④ 本会議は、担任の協力の下「進学対策委員長」が資料作成し、「学習室長」が司会運営するものとする。

| | |
|-----------|---|
| 平成21年7月実施 | 3年()組()番() |
| 志望校 | |
| 会議結果 | <p>会議の結果、あなたの第1志望校は</p> <ul style="list-style-type: none">・ 達成すべき最適な目標と考えます。この目標を掲げて、夏休み、そして目標達成まで、ぜひ頑張ってください。・ この目標を掲げて、夏休み、そして目標達成まで、ぜひ頑張ってください。ただし、あなたの強い希望と決意があれば、もう少し目標を上を設定してもいいと思います。 ~~~~~月 日までに担任まで面談に来て下さい。・ 少し高い目標ではあると思いますが、あなたの今後の伸びを考えると可能性に向かってチャレンジする必要があります。最大限の努力のため、日々の学習プランのチェックを行いますので、 ~~~~~月 日までに担任まで面談に来て下さい。・ 目標設定の変更をおすすめします。 志望校変更を含めた、面談を行いたいと思います。 ~~~~~月 日までに担任まで面談に来て下さい。 |
| 備考 | (担任からのコメント) |
